

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-357448

(43)Date of publication of application : 26.12.2001

(51)Int.Cl.

G07F 11/54
// A63F 9/00

(21)Application number 2001-136667

(71)Applicant : BANDAI CO LTD
MEGA HOUSE:KK
(72)Inventor : UENO KAZUNORI
YAMAGUCHI AKIRA

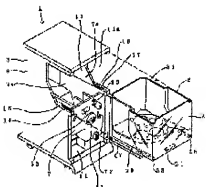
(22)Date of filing : 05.06.1996

(54) ARTICLE TAKE-OUT DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an article take-out device having general applicability which can sufficiently correspond to even the difference of the sizes of articles to be taken-out only by replacing an article housing case itself.

SOLUTION: The article housing case 5 is provided in the upper part of a device main body 3 in the state of being capable of drawing freely. On the bottom wall 21 of the case 5, a rotary disk 35 provided with a housing hole 39 for housing articles such as a capsule one by one in its surrounding is rotatably provided and a dropping port 43 opposing one of these holes 39 is formed. The main body 3 is provided with a dropping path 49 communicating with this port 43 and an article take-out port 51. The main body 3 is provided with an opening/closing member 53 for narrowing the port 43, and an operation lever 73 for operating the member 53 is provided on a front wall 7. The wall 7 is provided with a display member 65, and the displaying surface of this member 65 can be changed by the lever 73.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03.06.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's
decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3836330

[Date of registration] 04.08.2006

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of
rejection]

[Date of extinction of right]

Document Stating Relevance between Cited Reference and Present Invention

In the office action issued against corresponding Japanese Patent Application, the Examiner has indicated that JP2001-357448A discloses “a drive force generation/transmission mechanism generates a drive force by utilizing a force applied from a manual operation means which is manually driven, and transmits the drive force to an article moving mechanism as an operation source” and “an article stocker is constructed as one removable unit, and the article stocker and the article moving mechanism are constructed so that when the article stocker is moved close to the article moving mechanism, the article stocker and the article moving mechanism work in concert with each other, and that when the article stocker is moved away from the article moving mechanism, they no longer work in concert with each other.”

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-357448
(P2001-357448A)

(43) 公開日 平成13年12月26日 (2001. 12. 26)

| | | | |
|----------------------------|-------|---------------|------------|
| (51) Int. Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | テマコード (参考) |
| G 0 7 F 11/54 | | G 0 7 F 11/54 | 3 E 0 4 6 |
| // A 6 3 F 9/00 | 5 1 2 | A 6 3 F 9/00 | 5 1 2 B |

審査請求 未請求 請求項の数 5 ○ L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2001-136667 (P2001-136667)
 (62) 分割の表示 特願平8-165288の分割
 (22) 出願日 平成8年6月5日 (1996. 6. 5)

(71) 出願人 000135748
株式会社バンダイ
東京都台東区駒形2丁目5番4号
 (71) 出願人 591274532
株式会社メガハウス
東京都台東区寿二丁目10番13号
 (72) 発明者 上野 和典
東京都台東区駒形2丁目5番4号 株式会社バンダイ内
 (74) 代理人 100081363
弁理士 高田 修治

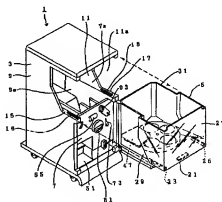
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 物品取出装置

(57) 【要約】

【課題】 物品収納ケース自体を取り替えるだけで、取り出せる物品を簡単に変更することができ、取り出す物品の大きさが異なっても、充分対応ができる汎用性のある物品取出装置を提供する。

【解決手段】 装置本体3の上部に物品収納ケース5が引き出し自在に設けられている。物品収納ケース5の底壁21には、周囲にカプセル等の物品を一つずつ収容する収容孔39が設けられた回転盤35が回転自在に設けられ、この収容孔39の一つに対向する落下口43が形成されている。装置本体3には、この落下口43と物品取出口51を連通する落下通路49が設けられている。装置本体3には、落下口43を挟める開閉部材53が設けられ、前壁7に開閉部材53を操作する操作レバー73が設けられている。前壁7には、表示部材65が設けられ、この表示部材65の表示面は操作レバー73によって変えられるようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 以下よりなる物品取出装置。

(イ) 正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ) 前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、(ハ) 前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、その回転方向に沿って形成された複数の孔を有し、前記操作部の操作に応じた回転により該複数の孔の何れか一つが前記落下口と対向する位置に導かれた時、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ導出可能にする回転盤。

【請求項2】 以下よりなる物品取出装置。

(イ) 正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ) 前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、(ハ) 前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、その回転方向に沿って形成された複数の孔を有し、互いに所定間隔をあけて設けられた複数の孔を有し、前記操作部の操作により所定間隔分だけ順次回転することに、該複数の孔の一つが順次前記落下口と対向する位置に導かれ、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ順次導出可能にする回転盤。

【請求項3】 以下よりなる物品取出装置。

(イ) 正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ) 前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、(ハ) 前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、その回転方向に沿って形成された複数の孔を有し、互いに所定間隔をあけて設けられた複数の孔を有し、前記操作部の操作により所定間隔分だけ順次回転することに、該複数の孔の一つが順次前記落下口と対向する位置に導かれ、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ順次導出可能にする回転盤と、(ニ) 前記物品収納ケースの前記落下口を狭めることができる開閉部材。

【請求項4】 以下よりなる請求項3記載の物品取出装置。

(イ) 装置本体の前壁には、複数の表示面を有する

表示部材が設けられ、この表示部材は、操作レバーの連結部材に連動して表示面を変えることができるようになること。

【請求項5】 以下よりなる請求項3記載の物品取出装置。

(イ) 装置本体の前壁には、複数の表示面を有する表示部材が設けられ、この表示部材は、操作レバーの連結部材に連動して表示面を変えることができるようになること。(ロ) 前記操作レバーに連動して、コインセクターのコインの必要枚数が切り換わるように構成されていること。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、装置本体の操作部材を操作すると、装置本体内部に設けられたカプセル等の物品を一つずつ取り出すことができる物品取出装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、装置本体内部に設けられたカプセル等の物品を一つずつ取り出すことができる物品取出装置は、カプセル等の物品を収納する物品収納ケースが装置本体に固定して設けられていた。

【0003】従来、装置本体内部に設けられたカプセル等の物品を一つずつ取り出すことができる物品取出装置は、1種類の大きさの物品を取り出せるようにしていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来の物品取出装置は、物品収納ケースに収納した物品を入替える場合、物品収納ケースの開口を塞ぐ蓋体を外し、その開口から手を入れて物品収納ケースの中に収納した物品を全部取り出し、最初とは異なる物品を開口から物品収納ケースに入れ直す必要があるため、極めて面倒であるという問題点があった。

【0005】また従来の物品取出装置は、取り出せる物品の大きさが1種類しかないため、異なる大きさの物品を収納することができず、汎用性に欠けるという問題点があった。

【0006】本願発明は、上記問題点に鑑み案出したものであって、物品収納ケース内の物品をいちいち手で入れ替えずに、物品収納ケース自体を取り替えるだけで、取り出せる物品を簡単に変更することができる物品取出装置を提供することを第1の課題とする。また、取り出す物品の大きさが異なっても、充分対応ができる汎用性のある物品取出装置を提供することを第2の課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本願請求項1に係る物品取出装置は、上記第1の課題を達成するため、以下の構成を有する。

(イ) 正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ)前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、

(ハ)前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、その回転方向に沿って形成された複数の孔を有し、前記操作部の操作に応じ回転により該複数の孔の何れか一つが前記落下口と対向する位置に導かれた時、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ導出可能にする回転盤。

【0008】本願請求項2に係る物品取出装置は、上記第1の課題を達成するため、以下の構成を有する。

(イ)正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ)前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、

(ハ)前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、互いに所定間隔をあけて設けられた複数の孔を有し、前記操作部の操作により所定間隔分だけ順次回転することにより、該複数の孔の一つが順次前記落下口と対向する位置に導かれ、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ順次導出可能にする回転盤。

【0009】本願請求項3に係る物品取出装置は、上記第2の課題を達成するため、以下の構成を有する。

(イ)正面を有する装置本体であって、操作部、物品取出口および該物品取出口と一端で連通した落下通路を有する前記装置本体と、(ロ)前記装置本体に装着することにより、上部の物品投入用開口部が前記装置本体により覆われ、底部の落下口が前記落下通路の他端と対向する物品収納ケースであって、物品入れ替え時に前記装置本体の正面より引き出し可能な前記物品収納ケースと、

(ハ)前記操作部の操作に応じ回転する回転盤であって、その回転方向に沿って形成された複数の孔であって、互いに所定間隔をあけて設けられた複数の孔を有し、前記操作部の操作により所定間隔分だけ順次回転することにより、該複数の孔の一つが順次前記落下口と対向する位置に導かれ、前記物品収納ケース内の物品を前記落下口から前記落下通路へ順次導出可能にする回転盤と、(二)前記物品収納ケースの前記落下口を挟めることができる開閉部材。

【0010】本願請求項4に係る物品取出装置は、上記第2の課題を達成するため、以下の構成を有する。

(イ)装置本体の前壁には、複数の表示面を有する表示部材が設けられ、この表示部材は、操作レバーの連結部材に連動して表示面を変えることができるようになってゐること。

【0011】本願請求項5に係る物品取出装置は、上記第2の課題を達成するため、以下の構成を有する。

(イ)装置本体の前壁には、複数の表示面を有する表示部材が設けられ、この表示部材は、操作レバーの連結部材に連動して表示面を変えることができるようになってゐること。(ロ)前記操作レバーに連動して、コインセレクターのコインの必要枚数が切り換わるように構成されていること。

【0012】

【発明の実施の形態】本願請求項1、2記載の物品取出装置の実施の形態を、図面に基いて説明する。物品取出装置1は、装置本体3を有する。装置本体3の上部には、物品収納ケース5が着脱自在に設けられている。物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35が回転自在に設けられ、回転盤35の周囲にはカプセル等の物品Aを一つずつ収容する収容孔39が所定間隔あけて設けられている。物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35に設けられた複数の収容孔39の一つに対向する落下口43が形成されている。装置本体3には、前記物品収納ケース5の落下口43と対向する落下通路49が形成され、この落下通路49は、装置本体3の前壁7下部に形成された物品取出口51に連通している。装置本体3の前壁7には、動力伝達部を介して前記回転盤35を前記所定間隔分だけ回転させる操作部材81が設けられて

【0013】本願請求項3乃至5記載の物品取出装置の実施の形態を、図面に基いて説明する。物品取出装置1は、装置本体3を有する。装置本体3の上部には、物品収納ケース5が設けられている。物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35が回転自在に設けられ、回転盤35の周囲にはカプセル等の物品Aを一つずつ収容する収容孔39が所定間隔あけて設けられている。物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35に設けられた複数の収容孔39の一つに対向する落下口43が形成されている。装置本体3には、前記物品収納ケース5の落下口43と対向する落下通路49が形成され、この落下通路49は、装置本体3の前壁7下部に形成された物品取出口51に連通している。装置本体3には、前記物品収納ケース5の落下口43を挟めることができる開閉部材53が設けられている。装置本体3の前壁7には、動力伝達部を介して前記回転盤35を前記所定間隔分だけ回転させる操作部材81が設けられている。装置本体3の前壁7には、複数の表示面を有する表示部材65を設け、この表示部材65の表示面を操作レバー

7 3の連結部材63に連結して変えることができる。

【0014】

【実施例】以下、本発明の好適な一実施例を図1乃至図5に基づいて説明する。図1は、本発明の一実施例に係る物品取出装置を示す斜視図である。図2は、上記物品取出装置の物品収納ケースを引き出した状態を示す斜視図である。図3は、上記物品取出装置の内部構造を示す斜視図である。図4は、上記物品取出装置の内部構造を示す斜視図である。図5は、上記物品取出装置の側面断面図である。

【0015】物品取出装置1は、箱型形状の装置本体3を有している。装置本体3の前面上部には、物品収納ケース5が引き出し自在に設けられている。装置本体3の前壁7の上部と両側壁9、11の上部の略半分が切り欠かれて形成されている。また、装置本体3の両側壁9、11内部には、物品収納ケース5の底壁21両側部を載置する係合段部15、17が形成されている。係合段部15、17には、ガイドレール16、18が設けられ、物品収納ケース5の底壁21両側部にはガイドレール16、18に係合する係合溝23、25が形成されている。

【0016】物品収納ケース5は、上面が開放された形の透過性を有する矩形形状をなしており、前壁部27及び両側壁部29、31の前部が装置本体3の前壁7の開17aと側面9、11の開19a、11aに嵌合するようにになっている。物品収納ケース5の底壁21には、円形状の四部33が形成され、この底壁21は四部33に向かって傾斜している。四部33内には、回転盤35が底壁21に突設された中心軸37によって回転自在に設けられている。回転盤35の中心軸37を中心とした周囲には、内部に小玩具を収容したカプセル等の物品Aをつつ収容することのできる収容孔39が所定間隔あけて設けられている。回転盤35の下面周縁には、環状のラック41が形成されている。

【0017】物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35の周囲に設けられた複数の収容孔39の一つに対向する落下口43が形成されている。また、物品収納ケース5の底壁21には、回転盤35の下面周縁に設けられたラック41を突出させる開口45が形成されている。物品収納ケース5の前記落下口43の上方の位置には、この落下口43に対向する回転盤35の収容孔39に物品Aが入らないようにするためのカバー部材47が側壁に固定して設けられている。

【0018】装置本体3には、物品収納ケース5の落下口43と対向する落下通路49が形成され、この落下通路49は、装置本体3の前壁7下部に形成された物品出口51に連結している。装置本体3には、前記物品収納ケース5の落下口43を収めることができる開閉部材53が設けられている。この開閉部材53は、アーム状に形成され、装置本体3の側に設けられた支台55に

突設された支軸57に基端が回転自在に取り付けられ、回転盤35の下側に設けられている。開閉部材53は、支軸57の近傍に係止軸59が設けられ、この係止軸59を係止する略U字状の係合穴61を先端に備えた連結杆63によって傾動するようになっている。

【0019】連結杆63の後端は、装置本体3の前壁7に回転自在に設けられた半円状の表示部材65の中心軸67のクランク状に折れ曲った端部69に連結されている。表示部材65の表面には、後記コイン挿入口95から挿入すべき金額が表示されている。表示部材65の側面には、アーム片71が一体に突設され、このアーム片71と装置本体3の前壁7から突出する操作レバー73が略L字状の連結部材75によって連結されている。操作レバー73は、装置本体3の側に支軸74によって傾動自在に設けられている。なお、本実施例では、前壁7から操作レバー73が突出しているが、この構造に限る必要はなく、機構の設計上許される位置であればどこでも構わない。

【0020】装置本体3の前壁7には、円盤状の操作部材81が設けられている。この操作部材81の中心軸83は、装置本体3の後壁13まで伸びて、後壁13で回転自在に取り付けられている。この回転軸83の後壁13近傍には平歯車85が固設されている。この平歯車85は、この平歯車85の上部の後壁13に回転自在に設けられた小歯車87と噛み合っている。この小歯車87は、この小歯車87の上部の後壁13に回転自在に設けられた平歯車89と噛み合っている。この平歯車89には、一体に駆動歯車91が設けられており、この駆動歯車91は、物品収納ケース5の底壁21の開口45から突出する回転盤35の下面周縁に形成された環状のラック41と噛み合っている。

【0021】装置本体3の前壁7内面には、コイン挿入口93から挿入されるコインを選別するコインセレクター95が設けられている。このコインセレクター95は、コイン1枚用と2枚用に切り替えることができ、この切替は操作レバー73によって行うことができる。コインセレクター95は、正規のコインであることを厚みと直径によって機械的に判断し、挿入されたコインが正規のものである場合は、コインセレクター95内に挿入されたコイン搬送円盤が回転可能となり、コインが投入されない場合及び挿入されたコインが不正のものである場合は、コイン搬送円盤が回転不能となる。

【0022】コインセレクター95のコイン搬送円盤の回転は、前記操作部材81の回転によって行われる。前記操作部材81の中心軸83と平行に中間軸97が設けられ、この中間軸97は装置本体3の前壁7と後壁13に回転自在に設けられている。この中間軸97の後壁13近傍には、前記回転軸83の平歯車85とかみ合う小歯車99が固設されている。この中間軸97の略中間には小ウォーム歯車101が固設され、この小ウォーム歯

車101は、コインセクター95の回転軸103に設けられた大ウォーム歯車105と噛み合っている。この回転軸103は、コインセクター95の搬送円盤を回転させるようになっている。

【0023】前壁7の下部には、開閉扉110が設けられている。この開閉扉110は、表示部材65、操作部材81、コイン挿入口93を露出させる開口が形成されている。操作レバー73は、開閉扉110によって塞がれ、開閉扉110を開けないと操作できないようになっている。開閉扉110の下部には、前壁7に形成された物品取出151と連通する窓部113が形成され、この窓部113には、開閉板115が後方に回転自在に取り付けられている。開閉板115の下部は、後方に回転すると物品取出口51に回転自在に設けられた蓋体117を押し上げ、物品取出口51から装置本体3内に手が入らないようになっている。また、開閉扉110の上端が、物品収納ケース5の底壁21前部に設けられた突起19と係合し、開閉扉110が開かないと物品収納ケース5を引き出せないようになっている。

【0024】物品取出装置1は、上記構成からなり、開閉扉110を開け、装置本体3の前壁7開口7aから、安価な小玩具を内蔵したカプセル等の小さい物品Aを収納した物品収納ケース5を押し込むと、物品収納ケース5内の回転軸35のラック41が装置本体3内の駆動歯車91と噛み合うことになる。物品収納ケース5内の物品Aは安価なので、操作レバー73を上方に押し上げると、コインセクター95がコイン1枚用となり、連結部材75、アーム片71を介して表示部材65を回転させて、この物品収納ケース5内に収納された物品Aの安い方の値段、内容等の表示面が前面側に位置する。さらに、表示部材65の中心軸67、クランク状の端部69を介して連結杆63を前方に引っ張り、開閉部材53を物品収納ケース5の落下口43の狭める方向に回転させる。落下口43が開閉部材53によって狭められているので、小さい物品Aのみが落下可能になる。

【0025】開閉扉110を開閉すると、開閉扉110の上端が物品収納ケース5の突起19に係合し、物品収納ケース5は引き出せなくなる。この状態で、操作部材81を回転させると、操作部材81の回転が、回転軸83、歯車85、小歯車99、中間軸97、大ウォーム歯車101、大ウォーム歯車105、回転軸103を通じてコインセクター95の搬送円盤を回転させようとするが、コインが挿入されていないため、搬送円盤は回転することができず、従って操作部材81は回転しない。コイン挿入口93に不正コインを挿入しても搬送円盤が回らないため、操作部材81は回転しない。

【0026】コイン挿入口93に正しいコインを1枚挿入すると、コインセクター95の搬送円盤が回転可能となるため、操作部材81は回転可能となる。操作部材81を半回転させると、操作部材81の回転が、回転軸

83、歯車85、小歯車99、歯車87、歯車89、駆動歯車91、ラック41を介して回転軸35を僅かに回転させる。回転軸35の収容孔39に収容された物品Aが物品収納ケース5の落下口43の上部に運ばれて落下口43に落下し、落下通路49を介して物品取出口51に落下する。物品取出口51に落下した物品Aは、開閉板115を押し開いて取り出すことができる。

【0027】高価な玩具を内蔵したカプセル等の大きい物品Aを収納した物品収納ケース5に取り替える場合は、前述したように、開閉扉110を開け、装置本体3の前壁7開口7aから、安価な小玩具を内蔵したカプセル等の小さい物品Aを収納した物品収納ケース5を引き出して、次の物品収納ケース5を押し込む。物品収納ケース5内の回転軸35のラック41が装置本体3内の駆動歯車91と噛み合うことになる。物品収納ケース5内の物品Aは高価で大きいので、操作レバー73を下方に押し下げると、コインセクター95がコイン2枚用となり、連結部材75、アーム片71を介して表示部材65を回転させて、この物品収納ケース5内に収納された物品Aの高い方の値段、内容等の表示面が前面側に位置する。さらに、表示部材65の中心軸67、クランク状の端部69を介して連結杆63を前方に押し出し、開閉部材53を物品収納ケース5の落下口43の広げる方向に回転させる。落下口43が開閉部材53によって広げられているので、大きい物品Aが落下可能になる。

【0028】開閉扉110を閉じ、コイン挿入口93に正しいコインを2枚挿入すると、コインセクター95の搬送円盤が回転可能となるため、操作部材81は回転可能となる。操作部材81を半回転させると、操作部材81の回転が、回転軸83、歯車85、小歯車87、歯車89、駆動歯車91、ラック41を介して回転軸35を僅かに回転させる。回転軸35の収容孔39に収容された物品Aが物品収納ケース5の落下口43の上部に運ばれて落下口43に落下し、落下通路49を介して物品取出口51に落下する。物品取出口51に落下した物品Aは、開閉板115を押し開いて取り出すことができる。

【0029】

【発明の効果】以上説明してきたように、本願請求項1および2記載の物品取出装置は、物品収納ケース内の物品を手で入れ替える代わりに、物品収納ケース自体を取り替え、取り出せる物品を簡単に変更することも可能にするという効果がある。本願請求項3記載の物品取出装置は、物品収納ケースの落下口の直衝を簡単に機構で変えることができるので、取り出す物品の大きさが異なっても、充分対応ができる汎用性のある構造にすることができるという効果がある。本願請求項4および5記載の物品取出装置は、例えば100円のカプセル等の物品を200円のカプセル等の物品に変えて使用する場合、操作レバーを一度操作するだけで、金額の表示部の変更

(100円から200円への変更)、物品の大きさにあ
わせた物品収納ケースの落下口の面積の変更、投入金額
(コインの枚数)を認識させる機能を有するコインセレ
クターの認識金額の変更を行うことができるという効果
がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る物品取出装置を示す斜
視図である。

【図2】上記物品取出装置の物品収納ケースを引き出し
た状態を示す斜視図である。

【図3】上記物品取出装置の内部構造を示す斜視図であ
る。

【図4】上記物品取出装置の内部構造を示す斜視図であ
る。

【図5】上記物品取出装置の側面断面図である。

【符号の説明】

1 物品取出装置

3 装置本体

5 物品収納ケース

7 前壁

7 a 開口

9 側壁

9 a 開口

11 側壁

11 a 開口

13 後壁

15 係合段部

16 ガイドレール

17 係合段部

18 ガイドレール

19 突起

21 底壁

23 係合溝

25 係合溝

27 前壁部

29 側壁部

31 側壁部

33 凹部

35 回転盤

37 中心軸

39 収容孔

41 ラック

43 落下口

45 開口

47 カバー部材

49 落下通路

51 物品取出口

53 開閉部材

55 受台

57 支軸

59 係止軸

61 係合穴

63 連結杆(連結部材)

65 表示部材

67 中心軸

69 端部

71 アーム片

73 操作レバー

74 支軸

75 連結部材

81 操作部材

83 回転軸

85 半歯車

87 小歯車

89 半歯車

91 駆動歯車

93 コイン挿入口

95 コインセレクター

97 中間軸

99 小歯車

101 小ウォーム歯車

103 回転軸

105 大ウォーム歯車

110 開閉扉

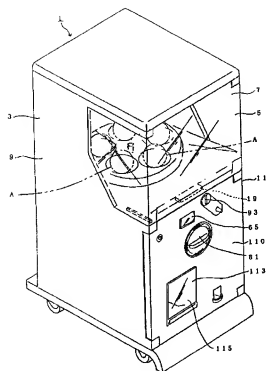
113 窓部

115 開閉板

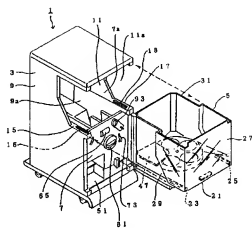
117 蓋体

A 物品

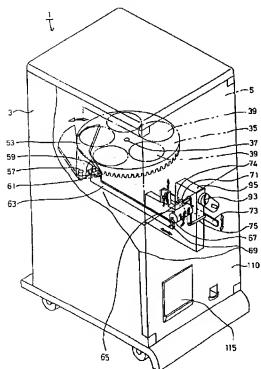
【图 1】



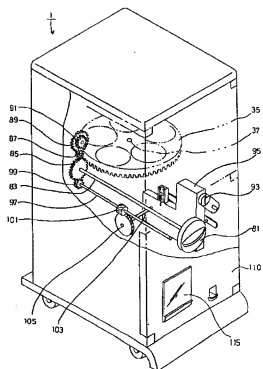
【图2】



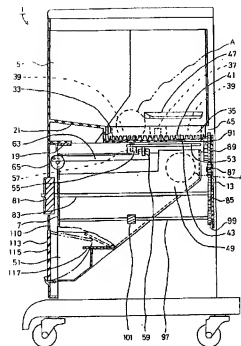
【例3】



【例 4】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 山田 彰
栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち4丁目2番20号 株式会社ピーアイ内

Fターム(参考) 3E046 AA02 BAO1 BB01 CB02 CC07
CD06 DA10 EB05 FA03 HA01